和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	第2 外国語 C I (中国語)
科目基礎情報					
科目番号	0006		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	物質工学科 (物質工学コース)		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	楊 榮 群『Love! 上海』初級中国語 [朝日出版社]				
担当教員	今北 純子				
到達目標					
1、中国語の発音を身につけ、日常常用単語を覚える;2、日常常用会話を身に付ける;3、中国の社会・文化・風習等を勉強することを通して中国を理解し、中国人との付き合い方を見つける。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
会話	日常常用会話ができる		簡単な日常常用会話ができる		日常常用会話ができない
理解	中国の社会・文化・風習等を勉強することを通して中国を理解し、中国人との付き合い方を見つけれ		中国の社会・文化・風習等を勉強することを通して中国をおおむね理解できる		中国の社会・文化・風習等を勉強することを通して中国を理解できない
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	中国語の発音と基本的な文法についての勉強を通して、中国語で基本的な会話を身に付ける一方、中国の文化、風習を理解する。				
授業の進め方・方法	前期は週に二回の授業を利用し、前期中間試験まで発音を基本とした授業を行う予定である。発音の習得を進める同時に、単語と簡単な挨拶を少しずつ増やしていく。授業の次の週は練習とし、生徒の実習を中心とする。後期は日常会話でよく使われている文法を中心に進めたいと思う。授業の次の週は練習とし、生徒の実習を中心とする。具体的には文法を復習しながら、会話の練習を行う。				
注意点	事前学習 次回の授業範囲を予習しておくこと。事後学習 授業中に配布された課題を行うこと。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 声調; 単母音		
		2週	複母音 ドリル		
		3週	無気音と有気音 声母表		
		4週	そり舌音 消えるoとe & 練習		
		5週	ドリル 鼻音		
		6週	「e」のバリエーション・ドリル アクセント・ドリル		
		7週	第1課 浦空港にて 人称代名詞 動詞述語文 疑問文 名前の言い方		
		8週	第2課 ダクシーに乗って 疑問詞疑問文		
	2ndQ	9週	復習		
		10週	第3課 ホテルでお茶を 所在を表す動詞 指示詞		
		11週	数詞 量詞 語気助詞		
		12週	第4課 私の家族 所有を表す“有”否定文		
		13週	接続詞“和” 家族の言い方		
		14週	第5課 趣味は映画です 副詞“不”“喜”+ 動詞		
		15週	推量を表す助詞 副詞“都” 復習		
		16週	期末試験		
後期	3rdQ	1週	第6課 大学の図書館へ 助動詞“想”連動文1		
		2週	動詞の重ね方 形容詞述語文		
		3週	練習		
		4週	第7課 放課後 数詞 時刻 曜日		
		5週	名詞述語文 正反疑問文		
		6週	勧誘・意志を表す“吧”		
		7週	第8課 上海の交通 時点 完了を表す助詞“了”		
		8週	前置詞“在” 経験を表す助詞“”		
	4thQ	9週	練習		
		10週	第9課 地下鉄付近にて 連動文2 選択疑問文“是”		
		11週	副詞“”1 形容詞の連体修飾		
		12週	第10課 上海の“小吃”主題文 助動詞“会”		
		13週	動詞の連体修飾“极了”		
		14週	第11課 ちょっとお腹が空いた 副詞“有点儿”変化を表す“了”		
		15週	距離。時間の隔たりを表す前置詞 “离”“挺。。。的”		
		16週	期末試験		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	試験成績	後期中間総合成績	ノート	出席 授業態度	合計
総合評価割合	50	30	10	10	100
配点	50	30	10	10	100